

自民党 21 支部機関紙 23 年 5 月号 45 毎月 1 回発行

# とりがい 秀夫の地域ニュース

南千住 8 - 3 - 3 - 201 電話 & FAX (3807) 4811

携帯メール torigaihideo@ezweb



## 防災力 荒川区全国ランキング 1 位

### 週刊ダイヤモンド社発表

5 月 14 日号に発売された「週刊ダイヤモンド」は「震災に強い街」特集を企画し、その中の全国 122 の市区の「防災力」ランキングを取り上げ、その中で荒川区が千代田区・中央区と並んで総合評価 90 点で同率 1 位の評価を得ました。記事の中の一部を紹介すると「東京都の中でも、特にハイリスクなエリアの一つとされ、古くからの住民が多い荒川区。1



つは都の再開発が昨年終了した汐入地区。40 年に渡る再開発を経て、防災に強い高層住宅と防災公園の町として生まれ変わった。今日高層住宅になってなお、旧住民主導の防災活動が盛んだ」と評価しています。

### 家具類転倒防止に助成金開始・7 月から 1 万円

3 月 11 日の「東日本大震災」の時には多くの家庭で食器棚やテレビ、家具類が転倒したと報告されています。これを受け、荒川区は 6 月の定例会において、高齢者や障害者の安心・安全の確保を図るために

「家具類転倒防止器具取付費助成」の補正予算を行うことになりました。65 歳以上の世帯や障害者手帳お持ちの方が対象となります

【詳細は 6 月号で報告します】

# 区議会臨時議会開催

## 区議会 3 役の監査委員に就任

4 月の区議会選挙後に初めて行われる臨時議会が 27 日に開催されました。この議会では議長・副議長・監査や今後、4 年間にわたる 32 名議員の本会議場の座席位置や常任委員会、特別委員会、各種審議会（交通対策委員会等）の所属、各議員の控室（1 人・8.5 m<sup>2</sup>）の場所など、基本的な枠組みを決める委員会です。私は次のような部署に所属しました。



本会議場の様子

監査委員、福祉・区民生活委員会理事、震災対策調査特別委員会理事、国民健康保険運営協議会副会長、保健所三法運営協議会委員  
尚、今回の大震災の影響を考慮し、自民党が「健康・危機管理調査特別委員会」の設置を提案し了承されました。

## 西川区長 23 区区長会会長に就任

### 荒川区で初の快挙



東京都内 23 区長で構成する特別区長会は 5 月 16 日、荒川区の西川太一郎区長が新会長に就任したと発表しました。任期は平成 25 年 5 月 15 日まで。西川氏は「東日本大震災の影響は計り知れず、特別区の今後のありようを大きく問うものとなった。都との連携のもと、行政課題に正面から向き合っていきたい」とコメントしました。

# 藤棚 1 基増設 今夏完成

## 汐入公園噴水広場・今後も増設要望

昨年6月、都は汐入公園内の「噴水広場」を利用する方に対し、日よけの「藤棚」を1基増設しました。今年度も引き続き増設の要望をしておりましたが、この度、1基設置との連絡を頂きました。利用者にとっては、いくらかでも役に立てればと考えています。公園協会からの連絡によりますと、完成するのは今年の夏頃との事です【本紙印刷までには工事予定日は確定できませんでした】更に来年も設置するとの話を伺いました。



## 汐入公園内の花が満開

現在、汐入公園内の住民花壇の中で、スイトピー・デルフィニューム・マーガレット・等々が見頃を迎えています。平成20年、10区画で始まったボランティア花壇も現在は、35区画迄に増えました。これからも公園内の空き地を利用して花壇も増設



していく方向だと伺いました。課題は「花を育てるにも、肥料代がかかるので大変だ」と利用者からも伺っていたので、公園側をお願いをしていたところ、この度、肥料を提供してくれるとの話を伺いました。【花壇の場所の確認は公園事務所で】

## 町会・中学合同運動会盛会裏に終わる

恒例の町会と第三中学校合同の運動会が開催されました。当日は雨天の為、体育館で開催されましたが500人を超える町会の方の参加があり、昼ごはんのトン汁の1200食もほぼ完食。大盛況のうちに終了しました。





# 人工河川「荒川放水路」自然との闘い

右の図は今から 120 年位前の、明治 20 年頃の荒川区を中心に書かれた地図です。当時は隅田川の上部を流れる荒川放水路はなく、常磐線、明治通り、都電、隅田川貨物駅、白鬚橋、尾竹橋、小台橋、・・・も完成していませんでした。それらの施設はその後、昭和の初め頃までの 50 年位かけて整備されていきます。明治、大正時代の人々はまさに自然と闘いながら国造りを進めていくことになるわけで、改めて日本人の力の凄さを感じます。



明治 20 年ころの荒川

## 明治 43 年隅田川大洪水 政府が動く

隅田川の上部、足立区や葛飾区を通り江戸川区に悠然と流れる川「荒川」が 100 年前に人の手によって造られた人工の河川だということが分かるのは中高年の方たちで、今の若い人達の中には、自然の河川だと思っている方が多くなって来ているのではないのでしょうか。



当時、東京の中心を流っていたのは隅田川で、毎年のように川の氾濫が起き、荒川区を始め多くの町が洪水の被害に遭っていました。特に大きかったのは明治 43 年の洪水で、この洪水をきっかけとして政府が動き始めます。【続く】



浅草六区の水害の状況。腰までつかる人びと。後方は 1 2 階建のビル